



POP WONDERLAND

# にんぎょひめ

Little Mermaid

にん けん こい  
人間に恋をしたにんぎょのものがたり



はかなくも美しいアンデルセンの名作を  
人気イラストレーターぽっぷが描いた！











そして、すえのになぎょひめも  
15さいになりました。

しんじゅの<sup>はな</sup>花かんむりを<sup>あたま</sup>頭にのせ、  
カキをしっぽにかざって、  
<sup>うみ</sup>海<sup>うえ</sup>の上にむかっておよいでいきました。







た。

とどろつき、

い、

すると

「いるのね」









にんぎょの<sup>くに</sup>国にかえってきても、  
にんぎょひめは<sup>おうじ</sup>王子さまのことを  
わすれることができません。

「もういちど、<sup>あ</sup>会いたい……」

でも、にんぎょのすがたのままでは、  
<sup>あ</sup>会うことはできません。

「そうだわ、<sup>うみ</sup>海のまじよに  
そうだんしてみましよう」





















しばらくして、王子さまがけっこんすることになりました。  
となりの国のうつくしい王女が、あの日海岸で  
王子さまを見つけたむすめだとわかったのです。

「よろこんでおくれ。いのちをすくってくれたあの人と  
わたしはけっこんするのだよ」

王子さまはうれしそうに、にんぎょひめに言いました。  
王子さまは、にんぎょひめをたいへんすきでした。

けれどもそれは、いもうとをかわいがるような  
気もちでしかありませんでした。

にんぎょひめは、目の前がまっくらになったような気がしました。









けっこんしきのパーティーは、<sup>ふね</sup>船の<sup>うえ</sup>上でにぎやかにおこなわれました。  
にんぎょひめは、かなしみをこらえて、おいわいのダンスをおどりました。  
<sup>あし</sup>足ははげしくいたみましたが、<sup>こころ</sup>心をつきさすいたみで、  
それにもかんじないほどでした。















そしてそれは、バラ色の雲にのって、  
空高くどこまでものぼっていきました。  
雲のあいまに、上子さまのやさしいほほえみが  
見えるような気がしました。